

林業安全コラム

職場発！ 心と体の健康チェック
はじまる 広がる 健康職場

○ 林業労働災害発生状況

	H24年	H25年	H26年	H27年	対26比較 (速報値)	備 考
死傷者数(人)	1,897 (1,800)	1,723 (1,642)	1,611 (1,529)	(1,541)	(+12)	()書きは、各 年1月7日現在の 速報値
死亡者数(人)	37 (34)	39 (40)	42 (42)	(37)	(-5)	

林業における平成27年の労働災害は、厚生労働省の労働災害発生状況(速報)によると、死亡者数は前年の速報値と比べて5名減少していますが、死傷者数は12名増加しています。

このような状況から、作業者におかれては安全な作業行動を再度確認するとともに、事業主におかれては労働災害防止への強い意識を持ち、積極的に安全衛生活動に取り組んでいただくようお願いします。

○ 林業労働災害の発生事例について (類似災害防止のために！)

被災者と事業主の2名がそれぞれ立木の伐倒及び玉切りと林内作業車により伐木の集材と運材を行っていた。

災害発生当日の午後、事業主が前日までに伐倒した伐木を林内作業車で搬出するため伐採現場を約1時間離れたあと、伐採現場に戻ると被災者が立木Bの倒木(高さ約14m、根元周囲約1.3m)の先端で下敷きになっていた。至急、救急車で病院に搬送したが死亡した。

被災者が倒れていた場所から1.8mのところから生きている立木Aは、二股に分かれており、1本(立木C)が伐倒され玉切りされ、もう1本(立木A)は伐倒された状態であった。このことから立木Aを伐倒後に被災したものと推定される。なお、チェーンソーは、そこから3.7m谷川に落ちて停止していた。また、被災者の保護帽は倒れていた場所から6.3m谷川に落ちており上部に8cmの亀裂があった。



【伐採作業においては、かん木、枝条、蔓、浮石等で伐倒の際その他作業中に危険の生ずるおそれのあるものをあらかじめ取り除くとともに、伐倒直前には、伐倒方向、周囲の状況、退避場所の再確認等最善の注意を払いましょう！】

注：事例は厚生労働省「職場の安全サイト」から

<お知らせ>

林野庁では、平成28年度に実施予定の以下の事業につきまして事業参加者の公募を行います。詳しくは林野庁のホームページに掲載していますので、ご覧下さい。

「緑の雇用」現場技能者育成推進事業（「新規就業者の確保・育成・キャリアアップ対策」、「安全な作業用器具等の開発及び改良」、「林業労働安全推進対策」）の平成28年度補助事業参加者を公募しています。詳細は林野庁ホームページをご覧ください。

http://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/28koubo_1/index.html

林業労働対策室
労働安全衛生班